

平成28年度 自己評価結果公表シート

大阪千代田短期大学附属幼稚園

1、平成28年度 本園の教育目標設定(Plan)

- 意欲的、積極的に取り組める子ども
 - 自分で考え、思っていることをはっきり表現できる子ども
 - みんなと楽しい集団をつくれる子ども
- 恵まれた環境を生かし、一人ひとりの思いを受け止め、自発的に行動できるように支え、寄り添うことを大切にする。

2、平成28年度 重点的に取り組む目標・計画(Do)

全教職員が一人一人の園児に必要な配慮をし、適切な支援ができるよう、園内研修の充実を図る。

各学年の発達段階に応じて、次のような目標を設定する。

- 満三歳児 ぱんだ組(自立の芽生えや友達との関わりを育て、幼稚園生活を楽しむ。)
- 年少組(幼稚園生活に親しみ、楽しんで登園できる基本的な態度を育てる。)
- 年中組(友達と積極的に関わり、主体的に物事に取り組み、活動する意欲を育てる。)
- 年長組(小学校就学をひかえ、心身共に強い子どもの育成をめざす。そのため、友達と協力する喜びを知り、努力してやり遂げた達成感を実感できるようにする。)

PTA活動の推進・・・保護者間の連携を深め、保護者も楽しく学べる幼稚園をめざす。

3、平成28年度 評価項目の達成及び取組状況(Check)

評価項目	取組状況
園務遂行の組織化	園務分担の明確化・職員間の連携の強化 運営委員会・学年会の充実 学年主任を中心にした、学年チーム体制の整備
創立60余年間の歴史(不易)を大切に、今求められている教育の要請(流行)に即して、本園の保育を磨く。	本園がめざす保育を、しっかりと発信する。 めざす子ども像を明確にし、全教職員の共通理解を図る。
教職員の資質の向上	園内研修の充実 「特別支援教育」 「絵画指導について」 大阪府主催の研修会への参加
つながりを大切に 未就園・在園児・卒園児、保護者、教職員が、いつまでもつながりを持てる幼稚園	「卒園児と保護者の会」の組織化 PTA役員との定例会を実施(月1回)し、保護者の意見を幼稚園運営に反映できるようにする。

4、平成28年度 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園体制の組織化……………リーダーの育成、組織体制の明確化を概ね達成
見通しを持った計画的な保育の推進……………学年会の充実、カリキュラムの練り直しにより概ね達成
教員の資質向上(研修の充実)……………園内・外の研修をはじめ、概ね達成

5、平成28年度 今後取り組むべき課題(Action)

課 題	具体的な取り組み方法
子ども一人一人のよさを育てる	個人記録をとり、丁寧に検証する。 自尊感情を育てるため、子どもができないことに注目するよりも、得意なことやよさを積極的に見つけ、力を発揮できるよう支援する。
特別支援教育	「要配慮児童ファイル」・「個別の指導計画」の作成 担任が、クラス全員への支援の具体的方策を設定し、保育をすすめる。
卒園児・在園児・未就園児のつながりの活性化	在園児対象行事にも卒園児や未就園児が参加できることを、卒園児新聞「たんぼぼ」等により一層周知を図る。 PTA活動の活性化……………保護者にも楽しい幼稚園未就園児と在園児との交流の推進

6、学校関係者の評価

地域住民や卒園児保護者及び現PTA役員により構成される「学校関係者評価委員会」において、原則年間3回実施している。

本園の教育方針・教育目標・保育内容等については、園児の育ちの姿を評価され、概ね良好であると認められている。

未就園児対象事業「ぼっぼクラブ」や満3歳児学級「ぱんだ組」の取り組み等、積極的な姿勢が評価されている。

地域の祭や中学校区の健全育成行事、駅頭でのあいさつ運動等、地域行事にも参加し、頑張る園児の姿は、みんなに元気を与えると好感を得ている。

7、財務状況

会計士監査により、適正に運営されていると認められている。